

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会参画実習2(Practice in Social Participation 2)	授業コード	A031158
担当教員名	星芝 貴行	科目ナンバリングコード	A20204
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	全学部 必修(2012年度以降入学生) 経営経済学部 必修(2011年度以前入学生)	単位数	1
履修上の注意または履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・人間力の育成、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。 ・本科目には「キャリア開発プログラム」クラスと「企業課題挑戦型プログラム」クラスがあります。履修登録クラスを間違わないように注意して下さい。 		
受講心得	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次には就職活動に向けた準備が始まります。是非、今期のうちに、自分が進むべき方向性が見いだせるように、積極的に授業を受けて下さい。 ・授業では、レポートや文書作成などの課題が課されます。提出期限を必ず守るようにして下さい。 ・企業の方から業界研究のテーマをいただく場合があります。調査を入念に行ったり、成果物をきちんとまとめるなど、今のうちから社会人としての責任感を持って取り組んで下さい。 ・学科合同で行う授業回があります。その際は担当教員、掲示等で教室などをお知らせしますので、間違わないように注意して下さい。また、外部講師の先生が講演されるケースもありますので、今のうちから社会人としてのマナーを守って受講しましょう。 ・企業訪問を実施します。基本的なマナーを守って下さい。 		
教科書	就職基礎Drill(実務教育出版) ※前期使用教科書		
参考文献及び指定図書	『知へのステップ 第3版—大学生からのスタディ・スキルズ—』 (くろしお出版)学習技術研究会 編著		
関連科目	社会参画入門・実習1・応用、人間力概論、就職講座、就職活動実践講座など		

授業の目的	<p>「キャリア開発プログラム」 本実習では、将来設計能力の育成、職業観の育成をしつつ、人間力、社会人基礎力を向上することを目的に、前期に引き続きキャリア開発プログラムを実施します。本実習を通じて、社会経済情勢の急激な変化に対応できる能力、自由に自分らしい生き方を選択し、目標を設定しそれを達成する力を身につけるとともに、自分の進む業界のことを正しく理解するための力、自分の役割を認識し実践する力を身につけます。</p>
授業の概要	<p>本実習では、前期に引き続いたキャリア開発プログラムとして、将来に向けた自分の目標設定を行うとともに、業界研究、就職基礎力などを取り上げます。ここでは、就職基礎力を磨くとともに、前期よりも深く、また自分に関係のないと思っている業界を含めた業界研究を行い、社会の動向と自分の生き方をより広い視野に立って関連づけていきます。これらの成果を発表することで、社会人としてのコミュニケーション能力やプレゼンテーションによる発信力など社会人基礎力を磨きます。さらに、自分の能力を客観的に見つめ、能力を向上させるための行動目標の設定と達成に向けた取り組みを行います。</p> <p>【キーワード】 ○コミュニケーション力 ○行動目標 ○職業観 ○企業 ○業界研究 ○SWOT分析 ○時間管理 ○プレゼンテーション ○社会人基礎力</p>

○授業計画

学修内容

学修課題(予習・復習)

第1週：ガイダンス・就職基礎ドリルテスト

- 行動目標の設定の重要性 ■働く意義や心構えを考える ■就職基礎ドリルテスト

第2週：行動計画の再作成

- 前期の基礎力測定テストに基づく振り返り、行動計画の再確認
■就職基礎ドリルもしくはテスト【前期の続き】

行動計画の再作成

第3週：業界研究話題提供【学科授業】

- 企業等から研究テーマ『自社や関連する業界について』の話題紹介
■今後の進め方の説明 ■業界研究テーマを選択

各自で企業研究を重ね、まとめるようにして下さい。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	・前に踏み出す力(主体性):授業内容に進んで取り組むことができる。 ・時間管理(規律性):無遅刻、無欠席で授業に参加できる。
【知識・理解】	・企業についての理解:企業とは何かを理解できる。 ・就職基礎力:就職基礎ドリルの問題を解くことができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	・コミュニケーション力(発信力、傾聴力):クラスのメンバーに、自分の意見を理解してもらうことができる(発信力)。また、相手の話や意見を聴くことができる(傾聴力)。 ・プレゼンテーション力(発信力):自分の活動成果をプレゼンできる。
【思考・判断・創造】	・考え抜く力(課題発見力、計画力):業界研究において現状を明らかにでき(課題発見力)、行動目標に沿って発表に向けた計画をすることができる(計画力)。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			20点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	30点	10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	15点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	・就職基礎ドリルの結果を参考に評価します。(10点) ・企業取材レポートの作成状況を評価します。(15点) ・業界研究のプレゼンテーション資料を評価します。(10点)
発表・その他(無形成果)	・業界研究発表会のプレゼンテーションを評価(チーム評価&個人評価で15点) ・授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(15点) ・チーム内でのコミュニケーションに積極的に取り組んだ場合も評価の対象とします。(5点)